

組合員のための **無料法律相談**
要予約
 2月27日(木)13時半～15時
 ●担当/山口第一法律事務所
 ●場所 内山 新吾 弁護士
 生協ふれあい会館2階「相談室」
 〓0836-34-2510

健康をつくる 平和をつくる いのち輝く社会をつくる

健康のひろば

●発行 **医療生活協同組合健文会**
 ●発行責任者 専務理事 森 健弘

医療生協健文会現勢 2019年12月31日現在

●組合員	18,675人
●出資金額	612,313,000円
●平均出資金額	32,788円
●支部数	21支部
●登録班数	132班

住所変更等ありましたら、まちづくり組合員活動支援部までご連絡ください。
 〒755-0005 宇部市五十目山町16-23
 TEL 0836-33-6644 FAX 0836-33-6651
<http://www.mcoop-kenbun.jp/kenbun/>

定款地域(活動する地域)・・・山口県全域



私たちは、医科・歯科・介護の連携を活かしたまちづくりへ挑戦します

リハビリ デイサービス たんぽぽ

3月2日リニューアルOPEN

10月から開始した診療所隣への新築移転工事が完了しました。新たんぽぽは、従来の1日コース(昼食、入浴あり)に加えて、リハビリを強化した午前・午後の半日コースも用意しています。要介護の方だけでなく要支援の方のご利用もお受けしています(半日コースのみ)。事業開始は3月2日です。一緒に働いてくれる介護・看護職員も募集していますので、よろしく願いいたします。



オープン記念イベント

日時 2月8日(土) 14時～
場所 リハビリデイサービスたんぽぽ
 (生協小野田診療所隣)

内容 ■ 14時～15時
 建物内見学、リハビリマシン体験、
 ロコモ予防体操、各種コーナー
 (カフェ、健康チェック、介護相談、作品展示など)
 ■ 15時～ もちまき

ぜひお越しください

健文会 協 強化月間 2019年度 のまとめ

12月14日の「月間まとめの集会」を弾みに、年度末まで目標をめざしてがんばりましょう!



- 和気あいあいの班活動をみた方から「班っていいね。私もいれて」と加入の声がかかった。
- 支部発行の月間ニュースが仲間を励ました。
- 色々な人に声をかけたが、老人会とのつながりを今後大切にしたい。
- 目標達成のために雨の日も訪問をした。寒かったけど加入してもらえうれしかった。
- 協立歯科リニューアル訪問は1000軒の目標で500軒近く実施。組合員の声を大切にする歯科職員の姿勢に勇気が湧いた。
- デイサービスたんぽぽは300名を超えるサポーター登録に組合員の期待をヒシヒシ。
- 「こころ」はとっても安心できる。

くでかける、つながる、安心を結ぶ。前進座公演「ちひろ」の成功を皮切りに、協立歯科・デイサービスたんぽぽの2つのリニューアル移転を地域に知らせ、そして「困った」の支援をみんなと取り組んだ今年の生協強化月間でした。

▼令和、令和と喧しかった一年も過ぎ、もうすぐ節分を迎える。今年には災害の無い穏やかな年になることを願うが、オリンピックもあるし、まだまだ皇室関連の報道も過熱するのだから。▼近年、皇室関連の報道の多さが目につく。平成天皇の憲法遵守の姿勢や象徴としてのあり方の模索などが、だからと言って個人は尊敬している、ただの報道は必要ない。何となく政府の都合の悪いことを隠蔽するためかと勘繰りたくなる。何より天皇を象徴として見るといふより人格化していくように怖い▼怖いと言えは新年早々トランプ大統領が、とんでもなく物騒なことをおこなうし、今後第3次大戦になるのではと不安でならない。我国の首相は諫めるどころかすぐに同調する人だし。▼こんなことを言っているだけでは何も解決しない。報道されていない多くの真実を知る努力を続け、地道に活動し続けるのみである▼今年、健文会は医療福祉生協になって30周年を迎える。春からデイサービスのリニューアルオープンもあるし、めでたいことが続く。まずは生協活動をコツコツと積み上げ、地域での不動の立場を得たいものだ。



医療・介護・くらしの事など... **何でも相談ダイヤル** 一人でも悩みをかかえていませんか? まずはフリーダイヤルまでご連絡ください。「困った」解決をお手伝いします。

専用ダイヤル ☎ (0120) 34-2510 まちづくり組合員活動支援部

平日の月曜～金曜 あさ9時～17時30分まで受付

無料



健康チャレンジ2019のまとめ



2019年度終了の方は現在3,215名ですが、最終的にコープやまぐちさんの報告を受けますと目標の3,500名になる予定です。今年度は小学校が減りましたが、全校で取りくんだ中学校が増えました。来年度は校長会での説明会を早めに開催することと、とりくんでいただける自治体

を広げる予定です。

アンケートから「健康チャレンジ」は役に立っている、終了後も生活習慣として続けると答えた方が6割〜7割を占めています。地域のヘルスリテラシーの向上めざして2020年度もチャレンジ!! (健康づくり委員会)

2つのとりくみご紹介

11月19日 ふじやま支部&新川鶴の島支部合同のチャレンジャーのつどい

食事をしながらとりくみ交流

内容は「“すこしお”お食事会」です。デザートを食べても塩分量は2.4gと少なく、季節を感じる美味しいお食事ができました。お食事をしながら、チャレンジへのとりくみについてなどたくさん話し盛り上がりしました。

「チャレンジは記録することでやらないといけないという意識が出てがんばれる」「空を見上げるのはとても気持ちが良かった」など、がんばったことや感じたことなどを共有し「来年もチャレンジしようね」とみなさん笑顔でした。(N)



季節感たっぷりのすこしおレシビを楽しみました



手作り料理にもチャレンジ!

11月29日 岐波支部「チャレンジャーのつどい」 in ときわ公園

歩いて、しゃべって、たまにはのんびりと…

目玉企画として「湖畔半周ウォーク」を実施、会話を楽しみながら約40分かけて紅葉深まる遊歩道を歩きました。後半はレストハウスでお弁当を囲んでおしゃべり、恒例の経験交流のリレートーク、最後は各教室から手遊びを披露してもらいました。

「若いころは子どもを連れてよう遊びに来よったけど、すっかり来る機会がなくなったから参加できて良かった」「久しぶりにこんなに長く歩いた、半周3*は結構大変だったけど気持ちよかったです」などの喜びの声が出されていました。(F)



湖畔半周ウォーク達成できて大満足!



ゆっくり散歩を楽しみながら



ひとつの輪を囲んで手遊び



12月18日、支部のたまり場「ゆず」で、地域の葬儀店を招き「終活セミナー」を開催しました。支部の中には高齢で一人暮らしの方も増え、「家族も遠方にいる。自分が死んだ後のことがとても不安」「元気がうちに身

の周りの整理がしたいけど、何から手をつけたいの?」そんな漠然とした声がかえっていました。

自分らしい最後を迎えるために

支部はそんな要求実現のため、昨年12月、第一歩となるセミナー開催につながりました。「終活」といっても、「終末期医療、相続、遺品整理、葬儀の決め方、墓や仏壇のこと」など多岐に渡ります。

自身の望む葬儀を考える

第1回目セミナーで

「相続について」の話が聞こうとなっていました。(F)

岐波支部

これまでをふりかえり、これからどう生きるか考える機会に

「はじめの「終活セミナー」開催

医科・歯科・介護の連携強化 地域に根ざし、まちづくりに貢献する拠点に⑨



建設現場の風景

2020年4月の協立歯科 リニューアルオープンをめざして

協立歯科リニューアル建設工事もほぼ外観ができて、本年4月の

オープンを目指して予定通り、順調にすすんでいます。組合員のみならず、協立歯科が皆様の期待に応えられるよう立派に生まれ変わりますので楽しみにして下さいね。

建設委員会では、地域・職員組合員が協力して、これまで8回(1月8日現在)、恩田地域の約600軒近くの訪問行動にとりくみ、300人

を超える組合員の方々とお話をさせていただきました。その中で、多くの期待の声や要望もいただきながら、「新しくなる協立歯科」に役立てようという思いを出し合っているところです。

「歯科治療」と言ってもさまざまな分野があります。一般歯科・小児歯科、審美歯科、予防歯科などなど。虫歯や歯周病治療、義歯製作や在宅での歯科訪問診療など、患者様のさまざまなご要望に応えられるまちづくり

は、「自身の望む葬儀を考える」と題して、供養のあり方、葬儀代の相場、葬儀の規模、葬儀前に準備しておいたほうがいいことなど、具体的な話を聞くことができました。暗くなりがちな話題にもかかわらず、時折、冗談も交え、一人ひとりが今後をよりよく生きることに、そして、自分らしい最期とは? を考える機会にしました。

参加者の感想に「エ

ンディングノートを実際に書いてみようと思

った」「元気なうちに好きな洋服を着て遺影撮影会をやりたい」

など、早速、要望もだ

されており、次回は行

政の方に出席講座で

「相続について」の話

を聞こうとなっていま

す。

(F)

生協小野田診療所のとりくみ

民生委員さんと協力して入院につないだ事例

生協小野田診療所では、通院が困難な患者さんのために、医師が自宅を訪問して診療をおこなう「訪問診療」を積極的にとりくんでいます。

先日、民生委員の方の研修会で生協小野田診療所の訪問診療を紹介する機会をいただきました。しばらくして、研修に参加されたある民生委員の方の担当地域で、独居の方で「1ヶ月前より回覧板が滞り、心配になって何ったところ動けない状態になっておられる」と相談がありました。即、医師と看護師で訪問。入院治療の必要があり、ご本人に説明後に入院をしていただくようになりました。患者さんも民生委員さんも安堵の胸を撫で下ろされました。

困った時には相談をうける、すぐにつけられる診療所でありたいと常々思っています。医療・介護・生活で困ったことがありましたら、お気軽に生協小野田診療所にご相談ください。

生協小野田診療所 看護師長 友永 理香



地域訪問行動 組合員と職員でベアを組んで

経済的なご事情などで医療費のお支払いにお困りの方、「無料低額診療事業」のご相談を受け付けています。

■憲法25条(生存権) 9条(平和主義) 13条(幸福追求権)が活きる社会の実現をめざします。

「中四国ブロック組合員活動交流集会(広島)」健文会ブレ企画

岡本正和さんと行く！地元の戦跡探訪ツアー 『過去の事実から学び、未来の平和を考えよう』

その4

山田映画の原点

宇部市

寅さんのふるさととは葛飾柴又です。監督の山田洋次さんのふるすとは、この宇部なのです。満州から引き揚げて

きて、15才〜18才を藤山で暮らしました。2015年、うへYY会(山田監督応援団)に届いた色紙には「ふるさとの町 宇部に感謝をこめて」と記されています。苦しい生活・アルバイト生活の中で出会った「笑」

ような笑いがあることを学んだ。宇部での体験がなかったら、『寅さん』もなかったと思うなあ(『読賣新聞』1999年1月9日)

山田さんが宇部にやってきた

今、全国ロードショーがおこなわれている「男はつらいよ50・お帰り寅さん」の特別先行上映会が12月15日宇部シネマスクエア7で行われました(うへYY会主催)。山田監督は舞台あいさつで「なつかしい宇部にまた帰ってきました」と語り始め、後輩の宇部高校演劇部の生徒の質問に答へ

て笑いを求め、笑いあうことで元気を出していたことが、梅干しのおにぎりとか豚汁みたいな、おなかのすいた人間が欲しいが、食べ物の



藤山の蔵 (1999年：岡本スケッチ)

ました。「藤山の平原に住んでいて、(旧制宇部中)に下駄で通学していましたよ。先生はみな若くて、民主主義とは民主政治、三権分立とはどういう思想か...おなかはずいいたけど、一生懸命教育されていた。なつかしく思い出すなあ」と語り、「渥美さんには今、宇部という町で上映会やってるよと語りかけたかったです」と結びました。山田さんが東大受験を勉強した蔵が藤山に残っています。平和ツアーで立ち寄り、山田映画の原点を感じてもらっています。



山田洋次さんが旧制宇部中学校の時、アルバイトで仙崎から仕入れたちくわを競馬場の食堂で買ってもらったというエピソードが記してある説明板の前にて。(宇部市厚南・宇部鴻城高等学校グラウンド傍)

馴染みの理髪店で聞いた話

健文会理事長 野田 浩夫

ぶらっと放浪記

その8

(別に年末年始に限らないが)この年末年始は文字通りフルに働いて病棟を守った。真夜中の急変のため、救急車に乗って大病院に患者さんを送っていったり、明け方5時に(運転手の絶対的不足と高齢化でこの時間はもはやタクシーが動いていないので)強い季節風に逆らって進めぬ自転車を漕いで気管内挿管のため病棟に駆けつけるなどということがあった。さすがに長い正月休みの最終日の夕方は病院を離れたくなって馴染みの理髪店に行った。「最近来ないので心配だ」という年賀状をもらっていたからでもある。そこで真っ白になって伸び放題の眉毛を黒く染めてもらって最低5年は見た目が若返った。

認知症カフェ

もう一つは、理髪店は外が見えやすいため、これまで何人も徘徊老人を保護したという話である。呼び止めて「コーヒーを飲んでいきませんか」というと大抵足を止めてくれるとのこと。「宇部市が警察にこのこと話しましたか?」と尋ねたら何の連携もないとのことだったが、本当の認知症カフェはここにある。最後に教訓の一つ「民医連の医師にとって地域の理髪店を利用するのは義務である」。ただし、理髪店にいた100分の間病棟からの電話は7回あった。平均的な頻度であるが。

本題はここから

と、別に高齢医師の残酷物語をここで書きたいわけではない。その理髪店で聞いた話が随分考えさせられたからである。一つは近くの商店主の高齢婦人が店の前の道路で交通事故死された話である。商店の前に大型車が

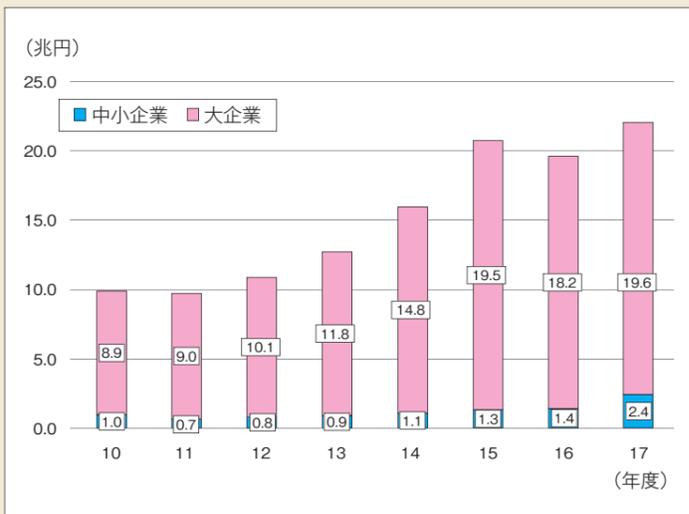
税金のはなし

ここが大事!

第3回「消費税率を5%に戻す方法(1)」

下関市立大学経済学部教授 関野 秀明

図3 受取+外国子会社配当益金不参入額の推移



(出所：国税庁「会社標本調査」より筆者作成)

* 「大企業」は資本金10億円以上または連結納税法人

世界経済全体が減速する中、消費税増税の家計・国民経済への悪影響は深刻です。それでは「消費税率を5%に戻す」ことは可能でしょうか。3%・8兆円減税の財源を探します。第一の財源は「大企業優遇税制見直しで計4.3兆円」を見直します。次の4つの見直しです。

①「研究開発減税廃止と投資促進減税半減で1.1兆円」。研究開発減税は、研究費総額に心した減税で大半が大企業向けです。投資促進減税(例：賃上げ減税)も過半が大企業向けで不要な措置です。②「受取、外



